

クリスマス・ラブ

Christmas Love

ときのかえ
クリスマス特集号
2024



The Salvation Army
www.salvationarmy.or.jp



クリスマスの喧騒^{けんそう}

父よ、クリスマスが近づくにつれて、わたしたちの心をあなたに向けさせてください。

今年こそ、年末の喧騒^{けんそう}に巻き込まれることなく、最初のクリスマスに神^{たまわ}が賜^{たまわ}った希望・平和・喜び・愛を祝う機会^{のが}を逃すことがありませんように。

最初のクリスマスに、御子^{みこ}は布にくるまれ、飼^かい葉桶に寝かされ、希望の贈り物となりました。

父よ、あなたの計り知れない贈り物に感謝します。

イエスの尊^{みな}い御名によって祈ります、アーメン。

ステファニー・ラケル

救世軍公報 ときのかえ

発行日 福音版 / 毎月 1 日、広報版 / 奇数月 15 日
定 価 福音版 / 1 部 40 円、広報版 / 1 部 100 円
クリスマス特集号 (12 月 1 日号) / 1 部 100 円

発行兼 救世軍
印刷人 代表者 スティーブン・モーリス
編集人 山谷 真

〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-17

電 話 03-3237-0881 (代表)

M a i l jpn.editorial@jpn.salvationarmy.org

発行所 救世軍本営
印刷所 ピーアンドエス

<https://www.salvationarmy.or.jp>



救世軍への連絡をご希望の方は、以下の項目の中から該当するもの及び住所氏名をご記入の上、救世軍本営(左記)にご連絡ください。

- 近くの救世軍を紹介してください。
- キリスト教について知りたいです。
- 『ときのかえ』の購読を希望します。
- 相談を希望します。

救世軍は、旧統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。



クリスマス・ラブ Christmas Love

ときのかえ クリスマス特集号 2024

神は、そのひとり子をお与えになったほどに、
世を愛された。ひとり子を信じる者が一人も滅び
ないで、永遠の命を得るためである。

聖書 ヨハネによる福音書 3章 16節



もくじ

クリスマス・メッセージ 救い主イエスの誕生を祝いま しょう 司令官 スティーブン・モーリス	p.2	クリスマスの祈り	p.14
クリスマス・メッセージ 良い知らせを伝える 第22代救世軍大将 リンドン・バッキンガム	p.4	証言 神様を愛し、隣人を愛し、仕 える者として 友安 渚さん	p.16
証言 神様がつくり、育ててくだ さっているお茶を届ける 渥美良太さん	p.6	ファミリーページ イエス様のお誕生日 クリスマス・クッキング クリスマス・クラフト	p.20 p.22 p.23
インタビュー 信じ、働き、信頼する マット・マートンさん	p.10	世界をみつめて	p.24
		小隊(教会にあたる)・社会福祉 施設・病院・その他施設	p.26
		救世軍とは?	p.28
		社会鍋	p.29



クリスマス・メッセージ

救い主イエスの誕生を 祝いましょう



スティーブン・モーリス

クリスマスおめでとうございます。今年もイエスの誕生を祝うシーズンがきました。なぜ二千年も前の出来事を今なお祝うのでしょうか？ その不思議さに思いを馳せませう。イエスの誕生のように世界中で祝われる祝日が他にあるのでしょうか？ イエスの誕生に特別な点があるとしたら、それは何でしょう？

聖書を神の言葉として読み進めると、イエスの誕生がなぜ重要かがわかります。それは、神の約束の成就を表しているのです。旧約聖書にはイエスの誕生についての預言が記されています。それは、イエスが生まれる町ベツレヘムの名前、処女から生まれること、なぜ誕生の時にその町に行くことになったのか、などの事

柄です。そのすべてがマタイによる福音書で説き明かされています。神は私たちを愛するがゆえに、イエスの誕生に先立って預言者たちを遣わし、幼子イエスの誕生が人類を罪から救うことを明らかにしました。神に感謝します。

いま世界で広く使われているカレンダーは、イエスの誕生の年を元年とし、それを区切りとして「BC」(Before Christ、キリスト以前)及び「AD」(Anno Domini、ラテン語で「主の支配」として)としています。これは、今までに生きた最も著名な人物が時間の基準となるべきだ、という考えから決められました。イエスが世界全体に与えた影響の大きさのゆえです。イエスの影響は、その弟子や信者を超えて世

界に及んでいます。

イエスの誕生がクリスマスとして伝統的に祝われてきたもう一つの理由は、イエスが幼子として誕生されたことにあります。イエスは、私たちの罪を贖うために来られました。イエスの誕生は、単なる誕生ではありません。イエスは、全世界の救い主、全世代の救い主として「仕える」ために来られました。私たちの罪深い本性の身代わりとなるために誕生されたのです。神を讃えます。イエスの愛は真実で深く、私たちの罪を赦してくださいませ。

他の宗教にも多くの祝日がありますが、イエスは世界で使われているカレンダーの起算方法に影響を与えた、ただひとりの存在です。イエスの影響力は、ルカによる福音書 19 章 10 節でイエスが言われた

「人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである」

という言葉によって、さらに世界に広がります。イエスが生まれた目的は、あなたを救い、あなたが神と結ばれ、その結果として、私たちみんながお互いと結ばれるようになるためです。必要なことは、イエスをあなたの救い主として個人的に受け入れ、信じる、ただそれだけです。

しかし、イエスについての預言はそれだけではありません。イエスはいつの日かもう一度この世に来られ、聖徒たちをご自分のもとに集める、と約束されました。そして、その時は目の前に迫っていると思えます。私たちがイエスの再臨に対して

備えることができるよう、神は愛をもって待ってくださっています。

聖書にはイエス・キリストに関する預言が 330 か所あり、そのうち 200 以上がイエスの再臨に関するものです。イエスは地上におられる間、やがて戻って来る、とはっきりと言われました。聖書学者は、私たちがイエスの再臨について時代のしるしを見極めることができるよう、今日も聖書を研究し続けています。今年のクリスマスを祝うにあたって、そのことを覚えてくださるようお勧めいたします。

どうか、イエスをあなたの救い主として個人的に受け入れてください。そして、今年のクリスマスが、あなたのためにこの世に来られ、十字架にかかり復活して下さったイエスの誕生を祝う時となりますように。

もうすぐクリスマスです。私たちが罪から救って下さる救い主イエスに感謝しましょう。もし、あなたがイエスを信じる気持ちになれなかったら、ぜひ私に知らせてください。あなたのために祈り、あなたがクリスチャンとしてスタートできるようサポートさせていただきます。

(救世軍士官〔伝道者〕、軍国司令官)





クリスマス・メッセージ

良い知らせを伝える

第22代救世軍大将

リンドン・バッキンガム

今年の初め、私は救世軍米国西部軍国で開催された全国大会に出席しました。テーマは「証し」でした。その週末、多くの感動的なイベントがありましたが、特に印象に残ったのは、人が劇的に変えられるストーリーでした。イエス・キリストに出会って神の愛に触れたことにより、人生が劇的に変わった人たちの証言を聞いたのです。

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された」（ヨハネによる福音書3章16節）

と聖書にあります。私は、時制を変えて、神は今も世を愛しておられる、としたいと思います。神の愛は最初のクリスマスの日と変わらず今日も現実で、真実で、深いのです。神の愛、神の計画は、過去だけでなく現在もすべて

の人に用意されています。これこそ私たちがクリスマスを祝う理由である「良い知らせ」です。

「良い知らせ」は、いにしへの預言者イザヤによって最初に宣言されました。

「ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、『驚くべき指導者、力ある神 永遠の父、平和の君』と唱えられる。」（イザヤ書9章5節）

「良い知らせ」は、イエスが誕生された夜、天使たちによって再び宣言されました。

「その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。

『恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。こ



米国西部軍国での大会で
大将（左）とブロンウィン中将

れがあなたがたへのしるしである。』

すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。

『いと高きところには栄光、神にあり、地には平和、御心に適う人にあり。』(ルカによる福音書2章8～14節)

羊飼いたちはすぐにイエスがいる場所を訪ね、幼子を見つけると、ただちにその「良い知らせ」を広め始めた、と聖書は伝えています。私のお気に入り場面です。羊飼いたちは自分が体験したことを、すぐ他人に知らせました。羊飼いたちはイエスが救い主であることを知ると、時間を一秒も無駄にしないで「良い知らせ」を伝えるために出かけたのです。すばらしい証しです。

その日以来クリスチャンたちは、神の子であり救い主であるイエス・キリストによる救い・罪の赦し・贖いの業を世界に伝え続けています。先ほどの「証し」をテーマにした救世軍全国大会では、羊飼いたちが経験したのと同じように、神によって人生を変えられ「良い知らせ」を他人に伝える多くの人々の姿を見ることができました。

第18代救世軍大将ショー・クリフトンは、著書『聖なるリスク』でこう書いています。

「クリスマスの中心はイエスである。イエスという名前そのものが人類史に

おける救い主の存在を宣言している。救い主が存在するのは、人間が救われる必要があるからだ。しかし、われわれが救いの必要を自覚する前から、救い主はすでにそこにいる。イエスは聖霊によって、われわれの最内奥における救いの必要を明らかにし、救いの招きに応じるよう優しく促す。クリスマスはイエスを救い主として発見し、再発見し、あらためて確認する時だ。イエスを発見する時、われわれは自分自身の真の状態を発見するのである。」

神は今日も人の心を変え、人生を再スタートさせることができになります。私たちもあの羊飼いたちのように「良い知らせ」を伝え、周囲の人々に証しすることができるのです。

今年のクリスマス、私たちが救い主の誕生を祝う中で、イエスの「良い知らせ」をだれかに伝えることができるよう、神が聖霊によって私たちに勇気を与えてくださいますように。そのようにして多くの人が神の愛を体験できますように。神の独り子であり救い主であるイエスという愛の贈り物を受け取り、神の愛を現実のものとして経験できますように。

妻のブロンウィン中将と共に、このクリスマスに神の祝福が皆様に豊かにありますよう祈ります。

第22代救世軍大将 リンドン・バッキングラム

救世軍最高指導者(万国総督)。ニュージーランド出身。1990年に救世軍士官(伝道者)となる。ニュージーランド・フィジー及びトンガ軍国、カナダ及びバミューダ軍国で奉仕。2013年からシンガポール・マレーシア及びミャンマー軍国(当時)の司令官、2018年から英国及びアイルランド軍国司令官、万国本営参謀総長を経て、2023年8月3日に第22代救世軍万国総督・大将に就任した。





静岡県浜松市天竜区春野町。この地に有機農法でお茶を育て、その働きを通して伝道を志している渥美良太さんにお話を伺いました。

有機農法の茶畑

現在、私の茶畑は約90アールあります。この地で長くお茶を育てていた農家さんたちから譲り受けたものです。茶畑のオーナーとなって今年で6年目になります。

静岡県はお茶の産地として有名です。浜松市の北部に位置する天竜区でつくられるお茶は天竜茶として知られていますが、ここ春野町でつくられるお茶は「春野茶」と呼ばれます。お茶農家さんたちが20年前から有機農法によって良質なお茶を育ててきました。有機農法というのは、化学肥料や農薬を一切使わず、堆肥たいひなどで良い土をつくり、作物を栽培する方法です。春野町は天竜川の上流に位置し、標高は400～700メートル、朝夕霧がたち、一日の寒暖差が大きく、お茶の栽培に適した所です。

いわゆる新茶と呼ばれる一番茶の摘み取りは、4月下旬から始まります。作業としては、その前の4月半ば頃か

ら準備などで忙しくなります。一番茶は5月下旬まで、二番茶は7月上旬の収穫となります。これらの時期はアルバイトやボランティアの方、教会の仲間などに手伝ってもらっています。それ以降は茶の木の剪定せんていや草取りなどが主な作業ですが、仕事の八割は草取りです。真夏はさすがに暑さが厳しいので朝の涼しいうちに作業を終えるようにしています。また、今のところ、販売はインターネットが主流なので、妻と二人、自宅兼事務所で発送作業をおこなっています。

育った環境

私は浜松市で生まれました。私が1歳の時、母は仕事の関係先のクリスチャンの方から、聖書を薦められました。『赤毛のアン』が好きで、その中に出てくる聖書にあこがれをもっていた母は、すぐ聖書を読んだそうです。そして、教会に誘われ、最初はその気が全くなかったのに、数カ月後には洗礼を受け


渥美良太 (あつみ りょうた) さん プロフィール

1984年静岡県浜松市生まれ。東京農業大学・地域環境科学部卒業。食品商社の勤務を経て、春野町で有機栽培を営む農家と出会い、農業の道を進み始める。安心・安全で高品質なお茶づくりに力を注ぐとともに、茶生産を通して社会に貢献し、次世代につながる地域づくりを目指して事業活動をしている。日本アツセンブリーオブゴッド教団浜松キリスト教会所属。



緑茶、ほうじ茶、和紅茶、ギフトセットなど商品多数

ティーズハレルヤ
ホームページ <https://haru-halle.com/>

 Facebook
「TeasHallelujah ティーズハレルヤ」

てクリスチャンになりました。

その後、私と妹2人は日曜日に教会に通うようになりました。クリスマスの時期には、毎年聖誕劇（イエス様がお生まれになった時のことを劇にしたもの）をして楽しかったことを思い出します。私自身は10歳の時、洗礼を受けました。ただ、それは友達を受けるから自分も、といったあまり自覚のないままのものでした。

私が17歳の時、家族で浜松市から春野町に引っ越しました。田舎暮らしをしたい、という父の希望でした。父は無神論者で、長い間信仰をもとうとはしませんでした。田舎暮らしになり、50代半ばになってクリスチャンになりました。

私は東京の大学に入るため実家を離れました。入学後、最初は近くの教会に行っていたのですが、だんだん大学の友達との交友が中心になり、1年半ほど教会に行かない日々が続きました。その時期は、楽しい反面、自分はクリスチャンなのに…と、罪悪感を覚えて過ごしていました。しかし、そのうち、人間関係に悩み、行き詰まってしまったのです。牧師先生のところに行って思いを聞いてもらい、祈ってもらいまし

た。すると、本当に不思議に心に平安をいただきました。その後、再び教会に通うようになり、イエス様の十字架での贖いによって罪赦された自分であることを深く知り、イエス様によって導かれる生活のすばらしさを経験することができました。そこでの信仰の体験が今の私の生活の原点になっています。

お茶農家になるまで

大学では地球環境科学部で学び、健康や食の安全などに関心があったので、卒業後は食品会社に入りました。しかし営業の仕事で、長時間労働と、ノルマをこなして売り上げを伸ばす生活に違和感を抱き、心身共に疲弊し、4年目に会社をやめました。

神様を信じながらも、心の痛みも抱いて実家に戻りました。聖書のエレミヤ書というところに、

「わたし自身は、あなたがたのために立てている計画をよく知っている——主のことば——。それはわざわいではなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ」(29章11節)

という言葉がありますが、神様が私にもっておられる計画は何だろう、と思ひ

ながら、とりあえず地元で就職して生活していました。会社勤めをする傍ら、消防団に加わりました。そこで知り合ったのがお茶農家の人でした。全国有数のお茶の産地の中でも恵まれた環境の春野町で、有機農法でお茶を育てている——ここらで人生の区切りをつけたいと思っていた私は、そのお茶農家で働くようになりました。そして4年後、その方から茶畑を引き継いで、晴れてオーナーとなったのです。

独立して1年目の農地は現在の三分の一くらいでした。徐々に畑を貸してくれる方が増え、条件の良い畑を借りて用地を増やすことができました。資金の問題がありましたが、市の「認定農業者」制度という支援に助けられました。知人から制度を紹介され応募したところ、審査に合格し、5年間、支援を受けることができました。認定の基準が厳しいらしいのですが、地域に根差している働きであることと、茶畑



での4年間の就労経験が評価されたのだと思っています。お蔭で最小限の費用でスタートすることができ、本当にありがたかったです。

仕事を通して神様のすばらしさを伝える

独立はしたものの、会社勤めとは違って、自分で計画し、それを実行して結果を出すということは初めてでした。しかも自然相手です。本当に不安でした。必死に祈って、そのたびに神様から平安を与えられてきました。私の好きな聖書の言葉は

「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい」（ピリピ人への手紙4章6節）

です。神様が私の祈りを聞いて願いに応えてくださり、願いどおりではない場合も奇跡とも思えるすばらしい答えを与えてくださることを、幾度となく経験してきました。神様は最善をなしてくださるという確信をもつことができました。

それぞれの時期に摘み取った茶葉は組合の工場加工されます。私も組合で他の方々と一緒に働いていますが、クリスチャンということで日曜日は作業をしないことを皆さんに認めてもらっています。また、地域の消防団の中に、以前は荒れた生活をしていたけれど、クリスチャンになって180度変えられた人がいて、このことを通しても、周囲の人にクリスチャンというものに良い印象をもたれたと思います。

緑豊かな所でお茶を育てていると、この自然は神様が造ってくださり、育ててくださっているということを強く感じます。私はその管理者です。良い管理をして、喜びの収穫を迎える、その喜びをお茶の販売を通して多くの方と分かち合いたいと願っています。

ブランド名の「ティーズハレルヤ」という名前に私の願いを込めました。「ハレルヤ」という言葉自体は結構、日本でも知られていますが、「主を賛美せよ」という意味は知らない人も多いと思います。お茶を育てるための土も雨も太陽もすべて、神様が造り与えてくださっています。その創造主をほめたたえていきたいのです。仕事でお会いする方に社名の説明をすることで、自然に証しができますし、お茶のパッケージに聖書の言葉を印刷したものをつくったりして、興味をもっていただいています。このパッケージ作成には妻が協力してくれ、社名のロゴは私の妹が作ってくれました。

これからのビジョン

結婚したのは2022年です。妻とは教会の共通の知人を通して知り合いました。その当時、彼女は東京にいましたので、定期的にライン電話で一緒に聖書を学び、祈る時をもちました。その生活が一年半続いて、価値観が同じであることがわかり、信仰の一致を見、神様の導きを確信して結婚しました。その翌年に息子が誕生しました。妻の希望は、家に多くの方を招いて神様を中心とした交流をしたい、というも



妻と息子の和喜くん

のでした。そこで、春野町からは少し離れますが、広いリビングのある家に引っ越し、宣教師の方や教会の信徒の方々、友人、知人をお迎えできるようになりました。また、息子がいることで、引っ越してまだ馴染みのない私たちに近所の方々が声をかけてくださり、つながりもできていることは感謝です。

最近、お茶の栽培を通して福祉と連携をするというビジョンを与えられました。というのは、心の病をもった友人がお茶の収穫作業を手伝う中で癒され、回復し、社会性を取り戻したのを目の当たりにしたからです。無心になって草取りをしたり、茶葉を摘み取るということは、余計なことを考えなくて済みますし、何より、神様の造られた自然の治癒力が大きいのです。このビジョンがどのようなかたちで実現するかはわかりませんが、多くの方に農業体験の機会を提供して、その方策を探っていければ、と思っています。



インタビュー

信じ、働き、信頼する

マット・マートンさん



2010年～2015年、日本のプロ野球阪神タイガースで活躍し、リーグ優勝に貢献したマット・マートン選手。ファンからの人気も高く、今も来日の度に歓迎を受けています。当時から敬虔なクリスチャンとして知られていたマートン選手に、信仰の証しをお聞きしました。

—今はアメリカで野球に携わっておられるのですね。

はい、現在は、フィラデルフィア・フィリーズの打撃コーチをしています。今日も遠征先から、このインタビューに答えています。主にマイナーリーグの、打撃コーチの責任をもっています。また、選手たちの分析の仕事もあり、ドラフトに備えたりもしています。

—日本に6年間おられた中での一番の思い出は何でしょうか。

日本での野球人生の中で、一番の思い出としては、2014年に東京ドームで試合をして、阪神がセ・リーグでのタイトルを獲得して、日本シリーズに進出できたことです。

日本の人々に関して印象に残っていることはたくさんありますが、来日して一年目、電車で移動していた時に、家族も一緒に、私はベビーカーを持っていました。その時、階段があっ

たのでどうしようかと悩んでいたところ、一人の日本人の男性が立ち止まってくれました。「手伝いましょうか」と声をかけてくれて、ベビーカーと一緒に下ろしてくれたんです。この経験から、日本の人たちは他の人を助けたら、人のことを気にかけるというのが根づいているんだなと、深く感じました。

また、私は本当に日本食が大好きで、今でも日本食がすごく懐かしくなるんです。アメリカでも何か日本の食材を売っているスーパーがないかなと探したりしています。

好きな日本の食べ物は、前は吉野家の牛丼と言っていたんですが、丼ものだったら何でも好きで、特にカツ丼ですね。卵はよく火を通してもらうのが好きです。試合前にカツ丼を食べていたことがあるんですけど、チームメイトから「いいね」って言われたんです。「カツ」は「勝つ」だから、と言って、

ほめられたことがありました。

でも何より、日本で出会った人たちのこと、それがやはり一番印象に残っています。チームメイトやコーチ、ファンの方々、また教会の人たちですね。日本で関わった人たちとのことが、今も強く心に残っています。

一当時、ヒーローインタビューなどで、はっきり信仰を言い表しておられました。最初にイエス様を信じた時のことについて教えてください。

はい、私はクリスチャンホームで育ちました。父も母もクリスチャンで教会に行っていたので、私も幼い頃から教会に行き、聖書の言葉を聞くというのが習慣になっていました。そして6歳の頃、自分には罪があり、救い主すくぬしが私には必要だということに気づきました。それでイエス様を救い主として信じる者になりました。

その時から今に至るまで、本当に神様は私の人生に働き続けてくださっています。これまでの人生で大きな転換期のようなものはあまりないですが、その中でも神様は私を、まず、神を信じる者へとしてください、その次の段階あかとして、そのことを証しする者へとくださっています。

私のように、幼い頃にクリスチャンになると、何か劇的な転換というものがないまま成長しているように感じる人もいると思います。けれ

ど、変化というのは実はイエス様を信じた時からずっと起こり続けているんですね。なぜなら、聖書の言葉には力があり、イエス様は私たちを毎日毎日、造りかえ続けてくださっているからです。

アメリカはクリスチャンの国と思われているかもしれませんが、アメリカでもまだイエス様を知らない人はたくさんいます。私自身はクリスチャンホームで育ってイエス様に出会いましたが、イエス様に出会う方法さまさまはそれだけではありませんね。神様は様々な方法をもって、イエス様に出会わせてくださいます。

一イエス様への信仰はプロ野球選手としてのキャリアや人生の中で、どんな意味もっていますか？

まず言えることは、イエス様を信じて生きることは、はっきりとした視点を与えられるということです。わたしの好きな聖書の言葉に、

「何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から



行いなさい」

という箇所があります(コロサイの信徒への手紙3章23節)。なぜこの箇所が好きかという、自分のしていることに対する視点を与えてくれるからです。「なぜあなたはこれをしているのか」ということを思い起こさせてくれます。私たちは何かの働きをする中で自分のベストを尽くすことが大切で、そうしようとしますが、この御言葉は、何をするにも、主に対してするように、心からおこなうという視点を与えてくれます。

ですから、私が阪神タイガースの選手としてプレーをしていた時には、自分のもてる最大限の力を出して、阪神タイガースのファンの人たちや関係する人たちに敬意を払って、自分のベストを尽くしていました。そして自分のベストを尽くすことが、結果的にはイエス様、神様に栄光を帰すことにつながっていました。

私たちは人生の中で誰もが良く生きたい、成功したいと願うと思いますが、私にとっては先ほど言った視点に立っていると、神様が私たちに与えてくださる計画や人生の意味に忠実に生きよう、と思うのです。生きる中で、



状況が簡単ではない時にも、私はそれを選んで、その道を歩みたいと思っています。なぜなら、イエス様は私と共にいてくださることを知っていますから。

信仰をもって間もない時、一番大切な言葉は、ヨハネによる福音書3章16節でした。

「神は、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。ひとり子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」

ひとり子というのはイエス様のことで、これは、聖書が伝える福音、グッドニュース、すべての人への良き知らせそのものの御言葉です。

—日本の人たちへのメッセージをお願いします。

昨年夏に日本に行った時にもお伝えした3つの言葉を贈りたいと思います。「信じる(believe)」「働く(work)」「信頼する(trust)」です。

まず、クリスチャンでない方に対してですけれども、まずは、自分ができるということ。「信じる」ということです。自分の目の前にあることに対して、一歩踏み出す前に自分ができるんだと信じることです。2つ目の「働く」ことに対しては、真剣に取り組むことが必要です。3つ目は、「信頼する」ということですが、何をするにも、例えば、チームメイトと一緒に働く人たちに信頼するとか、その時々過程、働きのプロセスを信じて続けていくといったことです。この部分は、物事を成功させる上で重要になってきます。

これらの「信じ」「働き」「信頼する」ことは私にも当てはまります。神様を信じる者として、この3つのことはさらに深くなっていきます。自分ではできると信じて、一生懸命働いて、信頼する、そのようにおこなっていくのですが、それを努めていっても、必ずしも自分が望んだ結果を得ることができないことがあります。そういう時に、そこからどう考えるかということです。

神様を信じる者にとってこの「信じる」ということは、私たちは神様のものであり、イエス様に属する者であることを信じることです。ローマの信徒への手紙の中に、

「口でイエスは主であると公におおやけ言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われる」(10章9節)

と書かれていますが、「信じる」ということが信仰の中心です。また、旧約聖書の創世記には、アブラハムという人のことが書かれており、彼は

「主を信じた。主はそれを彼の義と認められた」(15章6節)

とあります。そして続く章には、彼がなすべき事を神から教えられ、それに従ったことが書かれています。クリスチャンは、まず、信じて、そして働かなければなりません。先ほどのコロサイの信徒への手紙の言葉に戻りますが、「人に対してではなく、主に対してするように」働くのです。助け、奉仕し、イエス様の栄光を表せるように心から働くのです。

そして、最後に「信頼する」ことで



すが、イエス様に信頼するのです。自分の働きの過程も、結果も、すべてイエス様に信頼するんですね。なぜなら、いつでも、「神はその独り子をこの世に与えてくださった」という福音を思い出し、イエス様は永遠に共にいてくださることを知っているからです。たとえ逆境の中に置かれたとしても、自分の思うようにいかなかったとしても、それでもイエス様を信頼し続けるんです。

この「信じる (believe)」「働く (work)」「信頼する (trust)」の3つは、クリスチャンであるなしにかかわらず、あてはめて考えることができると思います。そしてクリスチャンは、イエス様に繋がっていくことで、この3つのことを最終的にはイエス様のためにおこなっていくんです。私にとっては、好きな御言葉、野球選手としてプレーしてきたこと、救いの体験、すべてのことに、本当に強く関係している言葉なんですね。

—ありがとうございました。

■【写真提供：FCA ジャパン】

* FCA ジャパンとは、スポーツ宣教団体です。

クリスマスの祈り *prayer*



神秘の光

聖夜に真理の光を輝かせてくださった神よ
地上であなたを求めるわたしたちを
神秘の光で照らして
天国でわたしたちが御子を享受できるようにしてください。
御子は父と聖霊と共に
世々かぎりなく生き、治め、栄光をお受けになる方。
アーメン

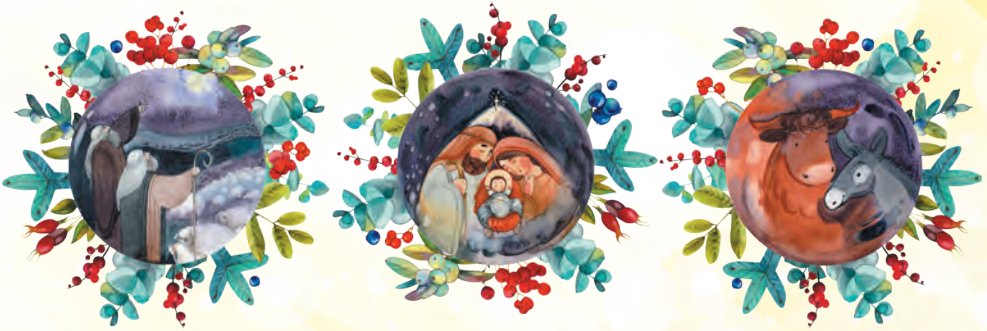
義の太陽

神なるキリスト
あなたの降誕は世に光をもたらしました。
その光を見て、占星術の学者たちは
星ではなくキリストを拝むよう導かれました。
義の太陽であるキリスト
あなたを通して昇り
あなたを通して降り
いと高き神をわたしたちは見ます。
栄光が主にありますように。

神の子ども

主イエス・キリスト、真の神から出た真の神よ
あなたはわたしたちのために幼子となり
あなたが創造された世界を救って下さいました。
御子がわたしたちのために生まれてくださったように
わたしたちもまた御子を通して再び生まれ
神の子どもとなり、あなたの恵みにより
神の家族の一員として生きることができるよう。
父と聖霊と共にひとりの神として
今も永遠も生き、支配しておられる方に祈ります。アーメン

チャールズ・R・ヘイル



4歳だったデイヴィッド

クリスマスって つらい日なのです
貧しい母親たちには。
物欲しそうな子どもたちの^{まなざ}しは
まるで刃の^{やいば}のように 耐えがたいのです。

お店には おもちゃが溢れるばかりあって
みんなが買ってしまっても まだいっぱい。
でも母親のふところが 空っぽだったら
何もないのと同じこと。

わたしの財布に お金はたくさんあるけれど
わたしには おもちゃひとつも買えません。
ただ買うのは 一枝のひいらぎだけ
わたしの坊やお墓を飾るために。

アメリカ 読み人知らず

わたしたちに何ができるか？

与えてください、神よ、
誤りに満ちた世界の中で、神の愛を見ることのできる目を。
与えてください、神よ、
無知と弱さの中で、神の善意を信じ続けられる信仰を。
与えてください、神よ、
物事を理解する心をもって、祈り続けることができる知識を。
一人ひとりに示してください、
世界の平和を実現するために、わたしたちに何ができるかを。

アポロ8号船長 フランク・ボーマン

あかし
証言 (信仰の体験談)

神様を愛し、隣人を愛し、 仕える者として

友安 渚さん



広島県福山市にある救世軍福山小隊（教会にあたる）と里親支援センター明日葉で、救世軍士官（伝道者）として奉仕している友安渚さん。児童養護施設職員の働きを経て、キリストに出会い、士官としての献身に導かれました。神様の恵みと喜びの証しです。

キリストを信じて救われた経緯

私は、救世軍愛光園に就職して3年目の時、イエス様と出会い、兵士入隊（救世軍の正式な信徒となる信仰告白）へと導かれました。

それまでも、呉小隊（教会にあたる）の日曜学校の手伝いをしたり、聖別会（礼拝）に出席したりしていました。しかし、目に見えない「神」という存在を信じるということが理解できないでいました。

2005年、全国青年デーという救世軍に集う青年向けの特別な集会に参加する機会を与えられました。同世代の方々と交流できたことは大きな恵みでした。「どうして神様を信じたの？」という直球の私の質問に、皆さん、誠実に答えてくださいました。それでも、まだ「自分事」になりませんでした。しかし、閉会集会で最後の祈りの時に、想定外のことが起きま

した。これまで、「偶然」だと思っていたことは、神様が私の人生に関わり、助けてくださっていたのだと気づかされました。クリスチャンではない私をも神様はちゃんと守ってくださっていたのです。イエス様の助けに気づかず、自分の力で生きてきたと思っていたことの罪悪感と、やっと無条件で私を愛してくれる存在を知った安心感で満たされました。そして、「イエス様を信じます」と祈りました。

私は、イエス様を知らないわけではありませんでした。イエス様の話は聞いていたのです。通った幼稚園も中高一貫校もキリスト教主義でした。賛美歌に心を惹かれ、教会に通いました。しかし、大学に入ると、アルバイトやボランティアに夢中で、教会には通わなくなりました。あしなが育英会の奨学生となり、街頭募金や遺児のつどいを企画・参加しました。それまで遺児のケアが中心でしたが、初めて、親御さ

んのケアのためのつどいを企画したりもしました。大学の課題で、福祉施設の施設長にインタビューをすることになり、自動的に決められた施設が、愛光園でした。働きを知り、心を奪われました。傷ついた子どもたちが生活していること、子どもたちのために職員方が心を注いで働いていること、それが自分たちの使命だと語る施設長の人柄にも引きつけられました。実習や卒業論文(里親について)もお世話になり、就職するに至りました。子どもたちと一緒に日曜学校へ行くことが習慣になりました。ものすごく遠回りをしたような気もしますが、また教会へと繋がりました。

私は、自分のことが好きではなく、怒られないように、周りに求められていることに合わせて行動する、ということが身につけていました。しかし神様は、ありのままの私を愛してくださる方であり、何があっても裏切らない方である。こちらが顔色をうかがわなくても、徹底的に私を愛してくださり、見放されることはないのだ、ということがわかりました。これが私の救いの確信です。

愛光園での仕事を経ての召命と献身

就職してすぐ、自分の考えの甘さを思い知らされました。子どもたちの気持ちはわかると思っていた傲慢さ、職員という上から目線でいたこと等々、多くの失敗をしました。「職員と子ども」ではなく、「人と人」として関わることを子どもたちから教わりながら、成長させていただきました。クリ

スチャンになってからも、未熟な私の関わり方次第で、子どもたちの可能性を閉ざしてしまう危険性もある、責任の重い仕事だ、と大きな恐怖を感じたこともありました。傷ついた子どもや親御さんたちと関わる時、自分の無力さを実感することもありました。そのような時に、「イエス様だったらどうされるだろう」と考えることができたことは大きな支えでした。職員方にも勤務の協力をいただいて、日曜日の午前は、日曜学校と聖別会への出席を続けることができました。

呉小隊では、手厚く育てていただきました。どんどん外に出て、色々なことを経験してきなさい、と送り出していただきました。同世代の方々と交流することで、自分の信仰を見つめ直す時ともなりました。そして、子どもたちにとって、いつ帰ってきても同じ職員がいることが大事という信念から、愛光園で生涯働くことが「献身」だと思えるようになりました。

士官への献身^{*1}の召命^{*2}を受けたのは、2016年の全国大会です。メッセージの後、ある方が来て、一緒に祈ってください、士官への献身を勧められました。当時の私は、愛光園で働くことが献身とっていましたし、自分が士官になれるわけがないとと思っていたので、士官になる選択肢はありませんでした。しかし、なぜか、このままやり過ごしたらいけないような気持ちになり、「神様が備えてくださっている道はどちらか」と真剣に祈りました。すると、はっきりとイエス様が手を差し伸べてくださり、こっちの道だよと

*1 士官への献身：生涯を献げて救世軍の士官として伝道の働きに就くこと *2 召命：神の側からの献身への招き

私の手を引いてくださいました。ここまでされたら降参するしかなく、士官への献身を決意しました。

士官になれないと思った理由は、自分には何もない、聖書も語れないし、人の魂を扱うなんて無理！と思ったからです。でも、よくよく祈っているうちに、愛光園で働くことが献身というけれど、裏を返せば、「子どもたちのケアはできる！」と思っているってこと？ それは子どもたちに失礼ではないか？ と思いました。自己満足のために握りしめているだけで、神様は、それを手放すように、神様に委ねるように言われているのではないか、子どもたちへの諸々の心配事も神様が整えてくださるはずだ、という思いに変えられました。

小隊や里親支援センターでの働き

士官学校に入校し学びと訓練を受け、2020年3月、コロナ禍が始まって大混乱の中、士官として任官され、最初の任命として、札幌小隊と北海道連隊（地区）本部、及び、桑園保育所、しせいかん保育園、菊水上町保育園のチャプレンとして派遣されました。集会ができない忍耐の時期でしたが、

多くのことを信徒の方、先生方や子どもたちから教えていただきました。最初に驚いたことは、「笑顔がいい！」と言われたことです。任官式の写真が表紙になっている『ときのこえ』を大事にしてくださっている方もありました。そこで初めて「私、笑っている！」と気がつきました。愛光園時代は、スタッフに対して、笑っているよりも、気難しい顔をしているか、怒っていることが多くありました。本当に申し訳なかったと反省するばかりです。このことに気づけたのも、愛光園を離れたからです。どれだけ高慢で、傲慢で、口先だけの汚い人間だったかということを知り知らされました。そして、認められたい、自分はこれがしたい、という醜い自我が、士官になった今もあることに気づかされました。自我を取り除き、謙遜さを身に着け、愛をもって人に仕えることができるようにと祈り続けています。

2022年3月、広島県の福山小隊へ転任となりました。色々なことが再開され始める時期でした。初めてのことも多くありましたが、信徒に相談した



2021年札幌 コロナ禍での若者支援活動（右端が筆者）



2024年福山小隊 ファミリー聖別会

り、一緒に考えたりするきっかけにもなりました。私は「一人です」「私ができる」という性格でしたが、「人を頼る」ということを学びました。近くの小隊や士官方にも助けていただいていることも感謝です。2023年6月には、呉小隊110周年記念集会があり、福山小隊の信徒の方々と共に呉小隊へ行くことができました。

2023年7月、福山に広島県東部・北部里親支援センター明日葉が開所されました。社会福祉の資格と経験があるということで、働きに加わらせていただくことになりました。一度手放した児童福祉の現場ですが、余計な物を削ぎ落として、恵みだけを与えてくださっていると感じます。そこでの出会いを楽しんでいます。明日葉のスタッフ方は、小隊の働きを気にかけてくださったり、YouTube動画を視聴したり、小隊に足を運んでくださったりしています。そして、明日葉が開所したことは、福山小隊の信徒方にとっても大きな喜びでした。地域に根ざした働きの拠点がつくられ、スタッフ方が生き生きと働き、災害支援にも喜んで従事して下さる



← 2024年4月、福山小隊で 明日葉スタッフ、小隊の信徒の皆さんと

姿を見て、信徒の方々も感謝し、祈り、支えてくださっています。小隊と明日葉の場所は離れていますが、繋がっていることに感謝します。

中高生の頃にクリスチャンになっていたら？ と思うこともありました。しかし、神様のご計画がそこにあり、色々な経験をした上で献身するという道が備えられていたのだと思います。家庭で、中学・高校で、大学で、愛光園で、呉小隊で、士官学校で、そして、士官になってから経験したこと、それらすべてが今の働きに繋がっています。今、神様に取り扱われていることも、これからの士官生活にさらに活かされていくのだと思います。士官である前に、人として練り造りかえてくださっていることに感謝します。私が神様の手を離さないかぎり、神様はいつでも共にいてくださると信じます。今は、この働きが楽しくて仕方ありません。相変わらず何もない私ですが、むしろ何もなくてよかったと思います。何かあったら、また高慢になることでしょう。神様と人々とに仕える者でありたいと願っています。

イエスは言われた。『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』（マタイによる福音書 22章 37～39節）



ファミリーページ

(おはなし)

イエス様の 誕生日

自分が生まれた時の写真や、ビデオを見たことのある人はいるかな？
きっとそこには、お父さんとお母さん、おじいちゃんやおばあちゃん、いろいろな人の笑顔があふれていたよね。こんな幸せな日は、ほかにはないって、みんなが思っていたよ。何よりもあたたかい日、それがあなたの誕生日。

でも、イエス様の誕生日はそれとは少し、違っていったんだ。イエス様は、ずーっと長い間、人々が待っていた救い主だった。そして、神様の愛するひとりごなんだ。でも、イエス様が生まれたとき、だれもそのことに気がつかなかったんだ。イエス様が生まれたのは、動物の住む、汚くて臭い、小さな小屋だった。信じられる？ この世界のすべての人を、罪から救うために生まれたイエス様が、誰にも知られずに、生まれてきたなんて。

イエス様が生まれる前、お母さんのマリアは、ヨセフと結婚の約束をしていたんだ。毎日、結婚の日を楽しみにして過ごしていたよ。でもあるとき、天使がマリアのところにきて言ったんだ。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。……あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。」(ルカによる福音書 1章 28節、31節)

結婚する前に、マリアのおなかには、イエス様がいることがわかったんだ。それは聖霊の力によるものだよ。マリアは神様から、イエス様のお母さん

えらに選ばれたんだ。ヨセフもそのことを信じて、マリアと結婚したよ。

マリアのおなかが大きくなってきたころ、マリアとヨセフは自分の名前を登録するためにベツレヘムという町へ向かったんだ。ベツレヘムには大勢の人がいて、どこにも泊まることができなかった。やっと見つかったのが、汚くて臭い、動物の小屋だったってわけ。そこで、イエス様が生まれたんだ。きれいなベッドも、お風呂もない。お医者さんも、助けてくれる人もいない。でもそれが私たちの救い主、イエス様の誕生日。

これが世界で最初の、本当のクリスマス。こうして生まれたイエス様は、やがて、おとなになって、神様が私たちを愛して、本当に大切に思っておられることを、教えてくれたんだ。

イエス様が私たちへの一番のプレゼント。

イエス様、私たちのために生まれてきてくれてありがとう。



☆『キッズ・ゴスペル』(子ども向けの読み物)

右のQRコードから、今月の『キッズ・ゴスペル』を読むことができます！ 聖書のお話も動画で見られます。ぜひ、ご覧ください！



クリスマス・クッキング

アイデア提供 札幌小隊女性の働き

★シュトーレン★ 簡単！材料を順に混ぜ合わせるだけ



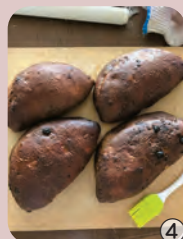
材料 4人分

- ・強力粉 200 g
- ・ドライイースト 6 g
- ・砂糖 24 g
- ・全卵 小1個
- ・シナモン、塩 少々
- ・牛乳 50 cc + 水 30 cc
- ・バター 50 g (常温にしておく)
- ・スライスアーモンド 7 g
- ・ドライフルーツ 25 g
- ・粉砂糖



作り方

- ①バター、アーモンド、ドライフルーツ以外の生地材料をよく混ぜ、5分くらいこねる。バターを加え更にこね、ドライフルーツ等を入れて更によくこねる。
- ②2個に分割し丸めて、布巾をかけて15分休ませる。
- ③更に生地を2個に分割し、楕円に伸ばす。それぞれ二つ折りにして、15分休ませる。
- ④180度のオーブンで15分、170度で15分焼く。
- ⑤焼き上がったらすぐに溶かしバター(分量外)を全体に塗り、冷めたら粉砂糖をまぶす。

ワンポイント
アドバイス

パン焼き機がある人は、こねる作業は、機械に任せると楽です。
2～3日寝かせてからが食べごろです。
ドライフルーツはラムレーズンやオレンジピールがおいしいです。

【古くから愛されたシュトーレン】シュトーレンはクリスマスを迎える4週間前から1切れずつ食べ始める習わしのあるドイツの伝統的なお菓子です。名前の由来は、幼子イエスを抱いていたおくるみに形が似ていることからきたとの説があります。

クリスマス・クラフト

★ボールオーナメント★ フェルトを使ってグルーガンでつけるだけ

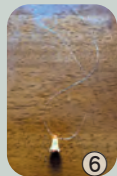
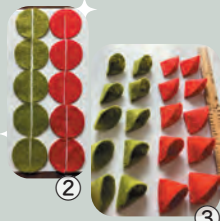


材 料

- ・フェルト 2色 赤、緑
- ・パールまたはビーズ 1個
- ・糸またはテグス 30 cm 1本
- ・鈴またはベル 1個
- ・リボン（細目）25 cm × 2本
- 用意する物：グルーガン
グルー樹脂
はさみ

作り方

- ①型紙に沿って直径 5 cm の丸型を赤と緑それぞれ 5 枚ずつ切る。
- ② 10 枚すべてを半分に切る。半円型が 20 枚できる。
- ③半径 2.5 cm 部分の端に 1 ~ 2 mm くらい幅でグルー樹脂をつけ半分に折り接着する。
- ④③の赤を手に取り、山折り部分にグルー樹脂を付け、緑の山折り部分を接着する。2 色の半円が 10 枚できる。
- ⑤④のパーツを 5 枚取り、直線部分の端に 3 ミリ幅でグルー樹脂をつけ（ベタ塗厳禁）、1 枚ずつ色違いになるように上に重ね、張り合わせる。* 背表紙がしっかり閉じている本のイメージ。背表紙を下にして開いた時にきれいな半円球になる。残りの 5 枚も同じようにする。
- ⑥糸またはテグスに鈴を通し、2 つ折りにした先端で結び鈴を固定する。
- ⑦⑤のパーツを一つ取り、5 枚張り合わせた背の部分にグルー樹脂をつけ、鈴を下にして糸またはテグスを渡すように接着し、すぐに全体を広げきれいな半円球にする。
- ⑧もう一つの⑤のパーツもきれいに広げて、⑦と接着部分が色違いになるように背中合わせに張り合わせる。形を整え余分な所は切りそろえる。
- ⑨糸またはテグスにパールまたはビーズを通し、その上にリボンを 2 本結びつけて、でき上がり。





世界をみつめて

〈ウクライナ支援の現状〉

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まって2年半、ウクライナでは依然として厳しい状況が続いています。国連ウクライナ人権監視団によると、2024年7月は2022年10月以来、民間人の死者数が最も多い月となり、300人以上が死亡し、さらに多くの人が負傷しました。

定期的な空襲によるストレス、睡眠不足、家庭の電気や水道の絶え間ないトラブルは、一種の新しい常態となっています。インフレと生活費の上昇は深刻です。戦争が始まって以来、ウクライナの就労者の53%が職を失ったと推定されています。国内の370万人の国内避難民にとって、生活は特に困難であり、避難民としての身分を証明できずに政府の支援を受けられない人々もいます。

救世軍は今もウクライナで活動を続ける国際的組織の一つです。8つの小隊（教会にあたる）が、それぞれのコミュニティと何千人もの国内避難民に、

实际的、精神的な支援を提供しています。ウクライナ中部クロピヴニツキーの士官（伝道者）、ベスモルナヤ大尉は言います。「避難民の人々に、できる限りのことをしています。最も大きな支援は、食料の提供、タオルなどの日用品、そして必要な物を購入するための引換券の配布でした。人々は何も持たずに避難して来るのです。」世界中の救世軍からの支援により、ウクライナの救世軍はこれまでに、55,000食の食事、48,665個の食料パック、39,301枚の引換券、18,908個の衛生キットを配布することができました。

また、周辺諸国を含む救世軍東ヨーロッパ軍国が世界の救世軍の支援を受けて運営したプロジェクトは、これまでに各地で50万人以上のウクライナ難民を支援してきました。人道支援に加え、救世軍の運営する施設を活用したり、他の支援組織と協力したりして、避難所を提供しています。

救世軍の士官たちは、困難な状況でも信仰をもち、暗闇の中での光となるよう、人々と共に生きています。愛する人や住み慣れた家を失うトラウマに苦しむ避難民にとって、ただ話を聞いてくれる人がいるだけでも貴重な助けとなるのです。「このような困難な状況で独りぼっちになっている人々の痛みを知り、その痛みを和らげる方法を探しています」と、キーウの小隊士官であるルキナ大尉は言います。リヴィウ小隊で奉仕するナタリア・ラクは、難民のためのプロジェクトについてこ



う語ります。「私たちは、彼らが安全で、愛され、孤独ではないと感じられる場所を提供します。彼らは、私たちが気にかけていること、そして彼らの命に意味があることを知るので。」

エネルギーインフラ、医療施設、学校への攻撃により、人々の生活に混乱が生じています。学生の40%がオンライン授業を受けていますが、停電により授業が頻繁に中断されています。救世軍の働きも停電の影響を受け、事務作業や救援物資の配布が頻繁に中断され、遅延しています。万国本営（本部）の国際緊急支援部では、東ヨーロッパ軍国と協力して、ウクライナの小隊や施設に非常電源やバッテリーなどを提供し、緊急対応が妨げられないようにしています。

夏は太陽の光と休息を楽しむ時ですが、ウクライナでは、爆撃の下での3度目の夏となりました。警報、ドローン、爆発が人々の生活を妨げ、子どもたちは夏を楽しむどころか、地下室に閉じこもらなければなりません。救世軍は子どもたちが普通の生活の感覚を得られるよう、夏の活動を企画しました。ベスマルナヤ大尉は言います。「子ども向けのキャンプやワークショップを提供しています。親は子どもたちがリラックスしているのを見て喜んでます。また、大人向けのワークショップもおこない、新しい町での生活についてアドバイスをしています。一緒に祈ることもします。常にストレスを抱えて生活している時には、あらゆる種類のサポートが必要です。」

戦争が終わったとしても、ウクライナ



サマーキャンプで博物館に行った子どもたち

の人々は依然として支援を必要とします。インフラの再建には何十年もかかるでしょう。救世軍は支援の必要ある人々のためにこれからも働き続けます。

キーウのダイアナ・ディアチェンコさんは、次のようなメッセージを送ってきました。「人生、家族、^{おだ}穏やかな空、暖かい家、そして神が与えてくださるすべてのものを楽しんでください。ウクライナと、神の愛を広めるためにここに留まり奉仕している私たちのことを忘れないでください。」

救世軍は、すべての支援活動がウクライナの人々の日々の苦難を和らげるものとなるよう、また働き人たちが守られるよう、祈り続けます。

世界の救世軍一統計 『救世軍年鑑 2024年』より

救世軍が活動している国	134
小隊(教会)と分隊(伝道所)	14,893
社会福祉の働き	
居住型施設(街頭生活者・高齢者・児童・障がい者・母子・難民等)	11,535
依存症回復施設(居住型)	176
同(その他のプログラム施設)	80
地域奉仕センター	430
デイケア施設(高齢者・ストリートチルドレン・保育・給食等)	3,628
住宅支援(高齢者・学生)	1,292
病院・診療所等医療施設	265
各種学校・幼稚園など	2,681
被災地・難民支援活動	292
救世軍兵士(信徒)・同友者	1,420,225

小隊 (教会にあたる)



クリスマスの礼拝など、お近くの救世軍へ
お問い合わせください。



北海道連隊 (地区)

本部 札幌市北区北22条
西5丁目1-5
TEL 011-788-5352

札幌小隊 011-788-5352
函館小隊 011-788-5352
遠軽小隊 0158-42-3409
釧路分隊 0155-23-4877
帯広小隊 0155-23-4877

関東東北連隊 (地区)

本部 高崎市寄合町5-1
TEL 027-323-1337

桐生小隊 0277-45-3117
前橋小隊 027-231-9533
高崎小隊 027-323-1337
佐野小隊 0283-21-5939
熊谷小隊 048-522-2477
仙台小隊 022-273-2368
若松小隊 027-323-1337
新潟小隊 025-229-2003
浪江小隊 (震災のため休止中)
長野分隊 027-323-1337

東京東海道連隊 (地区)

本部 東京都墨田区太平
4-11-3
TEL 03-6261-5701

上野小隊 03-3873-5386
または 03-6261-5701
大森小隊 03-6272-9771
川口小隊 03-6261-5701
神田小隊 03-3263-0848
京橋小隊 03-3551-0337
清瀬小隊 042-491-7600
江東小隊 03-6261-5702
渋谷小隊 03-6261-2447
杉並小隊 03-6256-8191
月島小隊 03-5860-2994
西新井小隊 03-3889-3894
横浜小隊 045-714-6060
横須賀分隊 045-714-6060
静清小隊 054-365-8270
浜松小隊 053-452-6717
名古屋小隊 052-935-7875

西日本連隊 (地区)

本部 大阪市北区天神橋
3-6-20
TEL 06-6351-0084

京都小隊 075-343-3726
または 06-6351-0084
天満小隊 06-6358-6679
泉尾小隊 06-6551-9187
神戸小隊 078-341-4594
岡山小隊 086-227-9029
福山小隊 084-926-3151
広島小隊 082-262-3776
呉小隊 0823-25-4794
高松分隊 086-227-9029
高知小隊 06-6351-0084
八幡小隊 093-652-1584
福岡小隊 092-531-7418



救世軍士官学校

〒166-0012
東京都杉並区和田1-40-17
TEL 03-6256-8262

救世軍士官 (伝道者) を養成する学校です。(全寮制・2年間)

山室軍平記念救世軍資料館

〒166-0012 東京都杉並区和田2-21-39
TEL 03-6256-8194

日本における救世軍の資料や、山室軍平に関する文書、資料を所蔵。祝祭日を除く毎土曜に開館 (10時~16時) しています。
(ただし、指定参観希望日があれば、週日も受け付けいたします。)

救世軍 on Web



救世軍公式ホームページ
<https://www.salvationarmy.or.jp>



救世軍公式 YouTube
救世軍 The Salvation Army、救世軍青少年部
<https://bit.ly/SArmyTube>



チャンネル登録、
フォロー
お願いします!



案内

社会福祉施設・病院・その他施設

※●は、社会福祉法人 救世軍社会事業団の施設。その他は、宗教法人 救世軍の施設

保育園・保育所・認定こども園

- 札幌市しせいかん保育園
011-204-9560
- 保育所型認定こども園
桑園保育所 北海道札幌市
011-221-6630
- 保育所型認定こども園
菊水上町保育園 北海道札幌市
011-821-2879
- 佐野保育園 栃木県佐野市
0283-22-4081
(併設：学童保育「佐野こどもクラブ」)
- 幼保連携型認定こども園
呉保育所 広島県呉市
0823-21-4711

児童養護施設・児童家庭支援

- 機恵子寮 東京都
- 世光寮 東京都
- 希望館 大阪府
- 愛光園 広島県
(併設：児童家庭支援センター「明日葉」)
- 豊浜学寮 広島県
- 広島県東部・北部里親支援センター
「明日葉」広島県福山市 084-959-3903

アルコール依存症者支援施設

- 自省館(救護施設)
東京都清瀬市 042-493-5374
男子社会奉仕センター
東京都杉並区 03-5860-2992

救世軍バザー場 東京都杉並区
中野富士見町(東京メトロ丸ノ内線)
より徒歩10分

江東出張所 東京都墨田区
錦糸町(東京メトロ半蔵門線/JR)
より徒歩10分

○営業時間や寄贈品受付等のお問い
合わせは両施設とも
03-5860-2992 まで

病院

救世軍ブース記念病院

〒166-0012 東京都杉並区和田 1-40-5
Tel 03-3381-7236 (代)
<https://boothhp.salvationarmy.or.jp>

〈診療科目〉内科、循環器内科、精神科、神経内科、消化器内科(内視鏡)、漢方内科、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科、眼科、緩和ケア科(ホスピス)、各種健康診断、成人病検診、199床(地域包括ケア病棟32床、緩和ケア病棟(ホスピス)20床、療養病棟147床)

救世軍清瀬病院(併設：介護医療院シャロン)

〒204-0023 東京都清瀬市竹丘 1-17-9
Tel 042-491-1411(代)
<https://kiyosehp.salvationarmy.or.jp>

〈診療科目〉内科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、145床(医療療養病棟60床、緩和ケア病棟(ホスピス)25床、介護医療院60床)

入院随時

両病院とも(財)日本医療機能評価機構認定病院。どなたでもご利用いただけます

特別養護老人ホームなど

- 老人保健施設
ブース記念老人保健施設グレイス
東京都杉並区 03-3380-1248
(併設：ブース記念ケアマネジメントセンター和田、ブース記念訪問介護ステーションルツ・ナオミ)
- 特別養護老人ホーム 恵みの家(ユニットケア型)
東京都杉並区 03-3381-7243
- 特別養護老人ホーム 恵泉ホーム
東京都清瀬市 042-493-5161
- ケアハウス いずみ(恵泉ホーム併設)
042-496-7575
(併設：ホームヘルパーステーションいずみ)

女性自立支援施設

- 婦人寮
- 新生寮





救世軍とは？ What is The Salvation Army? 心は神に 手は人に Heart to God, Hand to Man

救世軍は、英国ロンドンに国際本部を置く、世界134の国で活動するプロテスタントのキリスト教会です。1865年、英国のメソジスト教会の牧師であったウィリアム・ブースと妻カサリンによって始められ、家のない人々、仕事に就けない人々、アルコールの悪影響下にある人々、搾取される女性や顧みられない子どもたちに助けの手を伸べつつ、神様の愛を伝えました。



やがて、これらの働きを効率よく進めるため、軍隊流の組織を取り入れ、「The Salvation Army (救いの軍隊・邦訳は救世軍)」と名づけました。制服・制帽も制定され、信徒は禁酒をし、アルコール依存症に苦しむ人々の回復支援にも積極的に力を注ぎました。野外伝道で、ブラスバンド(英国式金管バンド)を用いて賛美するのも特徴の一つです。

救世軍は、世界の各地で人々のニーズにこたえ、様々な社会福祉施設、病院、学校などをつくりました。また、国際的な協力体制のもと、災害被災者支援や内戦などによる難民の支援、開発途上国における教育・医療・農業指導などの自立支援をおこなっています。さらに、人身取引反対のオピニオンリーダーとして、国際社会で積極的に情報を発信し、人身取引被害者の支援や社会復帰の手助けをしています。

日本での働きは、1895(明治28)年に英国から士官(伝道者)が派遣されて活動が始まりました。小隊(教会にあたる)を拠点として伝道を進めるとともに、娼婦運動、失業者対策、病院や結核療養所の設立、児童や女性の保護、アルコール依存症者回復支援など、時代に先駆けて様々な働きを興してきました。日本人で最初に救世軍士官となった山室軍平は、だれにでもわかりやすい説教と著書で、一般大衆にキリスト教を広めました。



現在は、40の小隊での伝道や子ども食堂などの地域奉仕とともに、2つの病院(ホスピス併設)、19の社会福祉施設を通して、働きを進めています。(26、27ページに掲載) また、災害時には、被災地支援のため、食事支援(炊き出し)などをおこないます。今年1月に発生した能登地震の被災地でも、キリスト災害支援会(通称「能登ヘルプ」と協力し、支援活動を継続しています。



能登被災地での食事支援

◆救世軍公式 SNS



@sarmyJP SArmy_JP 救世軍 The Salvation Army



社会鍋

11月30日は社会鍋の日

三脚に吊るされた鍋。赤と白のたすきを身に着けた人々が募金への協力を呼びかける声。「社会鍋」は、今から115年前に始められ、日本における街頭募金の先駆けとなりました。

日露戦争直後、戦地から帰還した多くの人々が職につけず、暮らしに困る人たちが街にあふれました。救世軍は、1906(明治39)年初頭から、労働紹介所、簡易食堂、木賃宿などの働きを始め、これらの人たちの救済活動に奔走。年末には、正月を迎える準備もできない境遇にある人々のために、餅やみかん、足袋などを詰め合わせた「慰問かご」を届ける運動を始めました。やがて、1909(明治42)年、「慰問かご」の中身を整えるための募金をする方法に切り替え、当時米国でおこなわれていた募金方法「ク



慰問かご

クリスマス・ケトル(スープ壺をぶら下げるスタイル)をアレンジし、どの家庭にもあった鉄鍋をぶら下げました。それは、「貧しい人々に正月の雑煮を」という趣旨が伝わるものでした。

この募金鍋はいつしか「慈善鍋」と呼ばれ、多くの人々から協力を得られるようになりました。1921(大正10)年、その名前を「社会鍋」と改称。支援活動も全国に広がって、「社会鍋」は俳句の冬の季語になるほど人々に知られるようになりました。

託された資金は、現在、街頭生活者支援、高齢者・母子家庭、障がい者施設への支援、更生保護、女性自立支援、児童保護、人事相談、国内外の緊急災害被災者への支援などに活用させていただいています。

現在は、救世軍公式ホームページより、オンラインでも「社会鍋」にご協力いただけるようになりました。街頭募金は、全国各地で12月よりおこなわれます。どうぞ、今年もご協力をお願いいたします。

第八回 救世軍社会鍋

俳句コンテスト受賞作品

今回は全国から二百四十作品の応募がありました。左記の作品が受賞されました。(敬称略)

最優秀賞

社会鍋婚姻届け出した朝

愛媛県 星月 彩也華

優秀賞

この意思よ明日へ届けと社会鍋

沖縄県 和宇慶 葵

社会鍋未来を運ぶ乳母車

東京都 木浦 禮子

社会福祉部長賞

わたしからいざ始めよう社会鍋

兵庫県 今北 葵

ほのぼの賞

幼子や抱つこの手から社会鍋

神奈川県 田中 和美

社会なべきようりよくするといいい気持ち

東京都 高昌 喜歌

幸せのたねがいっぱい社会なべ

栃木県 佐々木 花

佳作 野崎精子、長谷川誠、伊東伸也、

石川昇、武田悟、鶴飼克枝、佐藤節美、

古田小春、佐藤公、石原弘樹、浦城亮祐



社会鍋（街頭募金）への皆様のご協力感谢您いたします。
今年もよろしくお願ひいたします。

第9回救世軍社会鍋俳句コンテスト 12月1日(日)募集スタート

募集内容：社会鍋を題材にした未発表作品

提出物：一人2句まで

応募方法：●応募用紙（下記主催者へご請求ください）を郵便あるいはファックスで送付
●救世軍ホームページ「応募フォーム」に入力 ペンネーム不可 俳号可

締め切り：2025年3月31日（月）（消印有効）※応募資格・費用はありません

賞：最優秀賞一句 優秀賞二句 社会福祉部長賞一句 ほのぼの賞三句

結果発表：『ときのこえ』紙上、救世軍公式ホームページにて

選者：唐澤南海子（現代俳句協会会員・「岳」無鑑査同人・第27回俳壇賞受賞・日本基督教団信濃町教会員）

著作権：応募作品の著作権は救世軍に帰属

主催：救世軍本営「救世軍社会鍋俳句コンテスト」係

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17

TEL 03-3237-0881 FAX 03-3237-3588